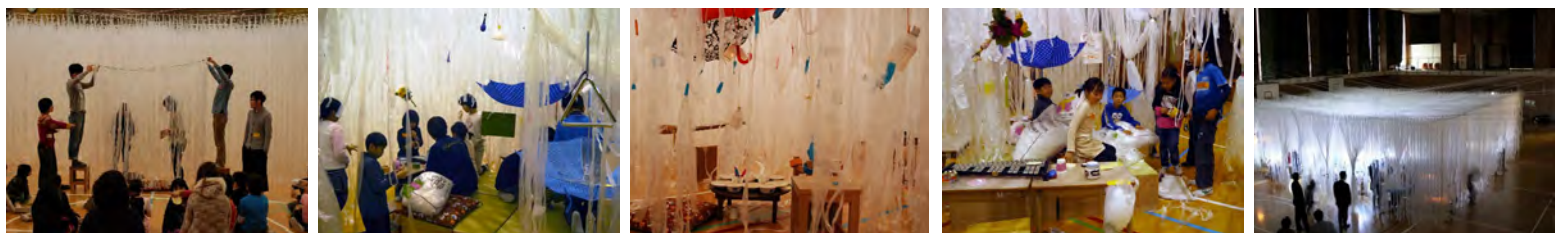


第3回 子どものまち・いえ ワークショップ提案コンペ

WSを実現できるチャンス!



写真:親と子の都市と建築講座2012「ふさふさの森」の様子



2011年から始まった「子どものまち・いえワークショップ提案コンペ」では、最優秀賞に選ばれた企画を日本建築学会(子ども教育支援建築会議子ども教育事業部会)が支援し、受賞した学生たちの運営で、ワークショップを開催しています。第2回のコンペでは、首都圏以外を含めた大学・専門学校からたくさんのご応募をいただき、ポスターセッション形式での発表と公開審査会を開きました。

さて、今年も「第3回子どものまち・いえワークショップ提案コンペ」を開催します。子どもたちに楽しみながら学んでもらうワークショップの企画案を、若い学生のみさんから募り、最優秀賞に選ばれた企画を「親と子の都市と建築講座2013」として実際に行ってもらいます。

ワークショップ未経験者からの応募も歓迎! アイディアとやる気を重視!

みなさんの企画を具現化できるこのチャンスに、ぜひたくさんのご応募をお待ちしています。

第3回子どものまち・いえワークショップ提案コンペ 募集要項・スケジュール等

【スケジュール】

- ①5月31日(金) 企画募集締め切り
- ②6月15日(土) 公開審査会
- ③6月～秋頃 講座の企画・準備
- ④秋頃 「親子の都市と建築講座2013」開催

【応募要項】

《応募対象》

- ①5名以上からなる学生団体。(大学院・大学・専門学校等、ワークショップ経験有無は不問)
- ②代表者を1名選出し、事務局と連絡がやり取りできる状況であること。

《応募方法》

- ①テーマを掲げて「子どものまち・いえワークショップ」を企画し、A3判1枚(縦使い横使いは自由)にまとめる。
- ②企画タイトル・概要・実施予定日時・実施場所(詳細下記)・参加者予想規模・当日スケジュール・スタッフ配置・準備物・準備スケジュール・予算など、ワークショップを実施するために必要な情報を明記すること。

- ③団体メンバー情報(代表者氏名・所属・連絡先住所・電話番号・メールアドレス、団体メンバーの氏名・所属)を明記した書類を上記に別添すること。

※ワークショップ実施にあたって最優秀賞プログラムを軸に実行委員会を設立し準備・運営を行うので、スタッフ配置については団体人数を越えて想定しても良いものとする。

※WSの参加者募集(広報)については、子ども教育支援建築会議子ども教育事業部会が担うが、企画団体でも募集を行う。

《企画条件》

- ①テーマは特に絞らないが『「まち・いえ」、すなわち、まちづくりや住環境に関わる企画』とすること。
- ②企画実践日については、2013年秋頃の土曜・日曜・祝日のいずれかの日に行うこととする。

※実施日については、審査会後に調整を行う。

- ③プログラムは半日(午前or午後)で終了するよう企画する。

- ④想定実施場所は、東京近郊とする。

なお、日本建築学会では、次の2箇所のとれかを実施場所として希望する場合、フィールドの確保を支援する。

※Ⅰ)江戸東京たてもの園

Ⅱ)晴海トリトンスクエアおよびその界隈

- ⑤実際に行うことが決定したプログラムに対しては、本会より10万円をワークショップ実施費用として用意する。

※予算にはスタッフ交通費や道具郵送料等も含むものとする。

- ⑥実行委員会には子ども教育支援建築会議子ども教育事業部会委員も参画し、実施に向けてサポート・アドバイスをを行う。

また、実施プログラムの著作権については、応募団体と子ども教育支援建築会議子ども教育事業部会に帰属するものとする。

※実施プログラムに選ばれた作品については、子ども教育支援建築会議子ども教育事業部会HPに掲載し、公開する場合がありますので、ご了承ください。

《応募締切》

2013年5月31日(金) (郵送または持ち込みで17時必着)

《結果発表》

2013年6月15日(土)に「第3回子どものまち・いえワークショップ提案コンペ」公開審査会を行い、その場で最優秀賞を決定する。
※公開審査会当日の詳細は、後日応募代表者にご案内します。

《応募先》

日本建築学会事務局「子どものまち・いえワークショップ提案コンペ」係

〒108-8414 東京都港区芝5丁目26番20号

TEL/03-3456-2056 E-mail/mishima@aij.or.jp

【作品展示】

以下の期間において、全応募作品を展示します。

《日 時》2013年6月8日(土)～15日(土)

《場 所》建築博物館ギャラリー(港区芝5丁目26番20号)

【公開審査会】

当日、ポスターセッション形式での発表会を行います。

《日 時》2013年6月15日(土) 13:30～

《場 所》建築会館(港区芝5丁目26番20号)

《コンペ司会》

中田弾(日本大学理工学部建築学科 助手、D&ANetworks代表)

《審査委員》

審査委員長:古谷誠章(早稲田大学理工学部建築学科 教授、NASCA 代表)

日本芸術院賞・日本建築学会賞・日本建築家協会賞などの受賞歴のほか、大学・自治体・学会・UIAなどで教育・社会活動に幅広く活動する建築家。

植田実(編集者、建築評論家)

「都市住宅」「GA HOUSES」「住まいの図書館出版局」編集長などを歴任し住まいとまちに対峙しつづけ、「住宅課題賞」審査員長をはじめ学生に熱い眼差しを向ける編集者。

中津秀之(関東学院大学工学部建築学科 准教授)

安全で創造的な子どもの遊び空間をはじめ、設計実務・展示・ワークショップなどを通じて、生活環境・都市環境に提言を続けるランドスケープ・アーキテクト。

高橋英久(江戸東京たてもの園 学芸員)

歴史的建造物の移築保存博物館で子どもと関わる学芸員であり、昨今書籍・DVDやTV出演などで注目される「けんちく体操」のパフォーマーの1人。

齋藤繁一(ソフトセル建築都市環境研究所 代表取締役)

AAスクールDiploma取得後、建築からプロダクトのデザインに取り組み、東京芸術大学・多摩美術大学などでの学生指導や社会活動に関わる建築家。

【参考】

- 1)日本建築学会子ども教育事業委員会ホームページ「楽々建築・楽々都市」<http://news-sv.aij.or.jp/kodomo/>
- 2)文献『楽々建築・楽々都市「すまい・まち・地球」自分との関係を見つけるワークショップ』日本建築学会編/技報堂出版